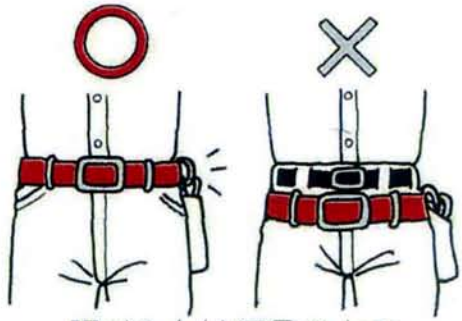
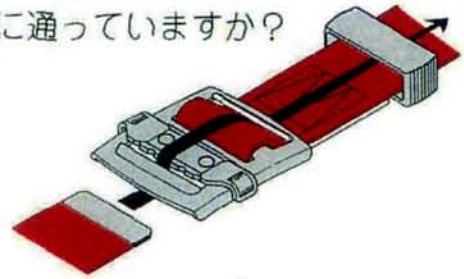
安全帯を正しく使用するためのポイント

ポイント Point 1

安全帯は取扱説明書の手順に従って確実に装着していますか？



ベルトは正しくバックルに通っていますか？



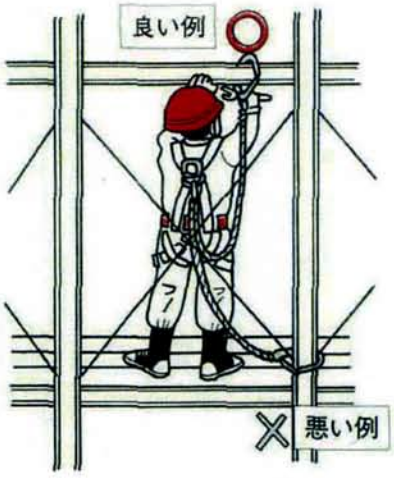
胴ベルトは腰骨の上で締めていますか？

ポイント Point 2

墜落時の衝撃による背骨への負担を軽減させるために、D環あるいは巻取り器の位置を身体の横、あるいは斜め後にくるように装着していますか？

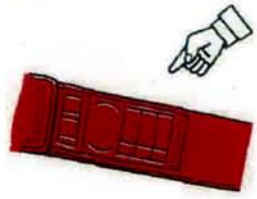
ポイント Point 3

フックはD環より高い位置に取付けていますか？



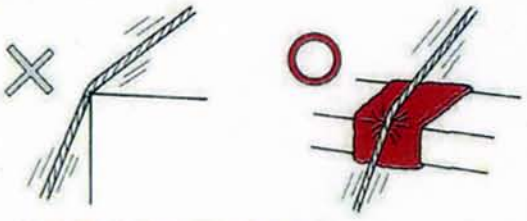
ポイント Point 4

安全帯に縫い付けてあるネームに使用開始年月日を記入し、交換時期の目安にしていますか？（ロープ／ストラップは2年、他は3年が交換の目安です）



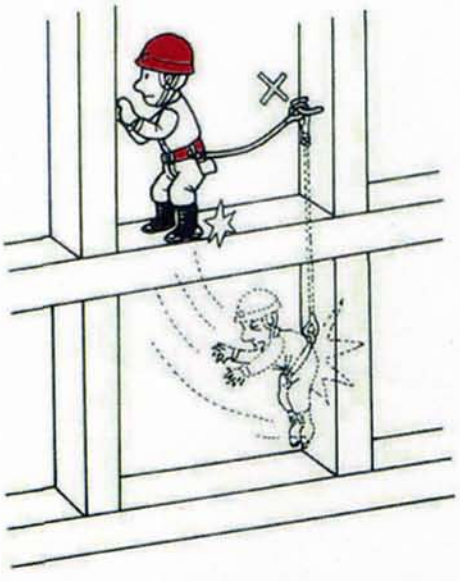
ポイント Point 5

ロープ／ストラップは鋭い角に触れないようにしていますか？



ポイント Point 6

墜落による振り子状態が発生した時、構造物に衝突しない箇所にフックを取り付けていますか？

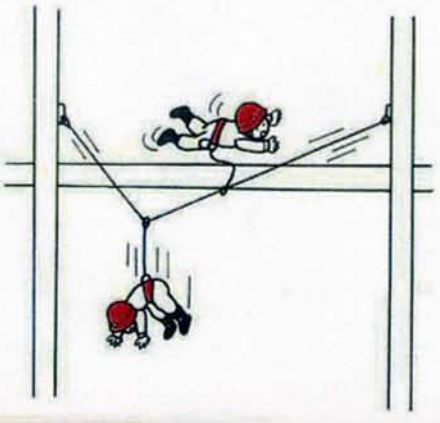


ポイント Point 7

一度でも大きな荷重が加わった安全帯や異常のある安全帯は廃棄していますか？（外観では判断できない強度劣化を生じている場合があります）

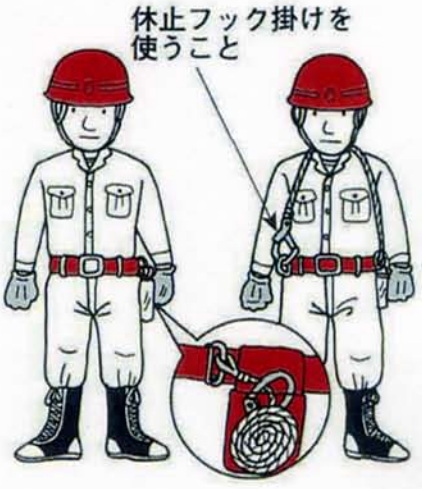
ポイント Point 8

垂直・水平親綱の１スパンを利用する作業員は、必ず１人にしていますか？



ポイント Point 9

ランヤードを使用しない時は、袋に入れるか、肩に掛けるなど適切に処理していますか？



ポイント Point 10

さつま編込部の点検をしていますか？
（下図の様な使用状態が継続するとさつま編込部が型くずれを起し、抜ける場合があります。